

地域との連携・協働による川づくり支援

目 的

近年では河川を持つ自然環境や歴史・文化をテーマとして、市民団体をはじめとして地域住民が積極的に関わりを持ち始めています。

また、河川整備では河川整備計画の策定にあたっては地方公共団体及び地域住民等の意見の反映が位置付けられ、個性豊かな川づくりのために計画策定への地域住民の参加、地域との連携・協働による川づくりは欠かせないものとなっています。

さらに、「国土交通省所管の公共事業の構想段階における住民参加手続きガイドライン（案）」（H15.6）に示されるように、より良い計画づくり、事業の円滑な推進のために公共事業の構想段階から住民参加を積極的に図ることが求められています。

そこで、当社では川づくり計画策定に対する住民参加手法の提案や運営の支援、具体的な河川での地域住民との連携・協働による川づくり活動の支援を行います。

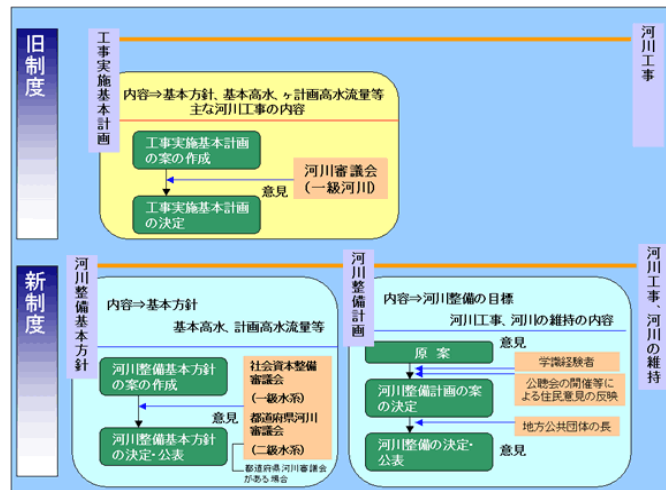


図 河川整備計画策定に係る流れ

内 容

「地域との連携・協働による川づくり支援」では、以下のようなことを実施します。

①住民参加による川づくり計画策定の支援

- ・ 着手段階から計画策定までの住民参加手法のプランニング
- ・ ワークショップの開催、運営
- ・ 広報資料の作成 等

②地域住民との連携・協働による川づくり活動の支援

- ・ 地域住民との川づくり活動の企画提案
- ・ 具体的な川づくり活動（河川清掃、水生生物調査 等）の運営支援
- ・ 川づくりに関係する市民団体等とのネットワークの構築
- ・ 川を中心にしたコミュニケーションツールの作成 (Web-GIS) 等

技術ポイント

(1) ワークショップの開催・運営

住民参加による計画策定には、住民でグループ（7～8名程度）を作って話し合いを行う「ワークショップ」が行われます。当社はまちづくりコンサルタントとしてのキャリアを活かし、現地視察やポストイットを使ったKJ法など、「進行役」として地域住民からの意見を引き出します。

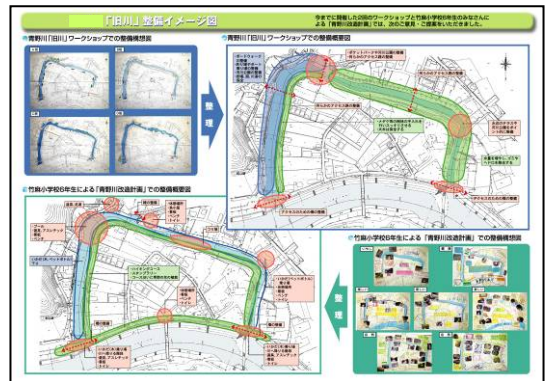


ワークショップの様子

(2) 広報資料の作成

住民参加による計画策定の様子や状況を多くの人に知ってもらい、計画に対してより関心を高めてもらうためにも広報紙は欠かせません。当社では、毎回の会議の様子を紙面にして、計画づくりがどの様に行われているのかを伝えていきます。

広報紙の例→



(3) 川づくり活動の実施支援

水生生物調査や地域住民による一斉清掃、小学生によるパックテストを用いた水質調査など、地域住民が行う川づくり活動やへの実施支援を行います。



(4) 川を中心にしたコミュニケーションツールの作成

住民が見つけた川の魅力や良い所をパソコンの地図上に自分で書き込み、他の人もインターネットを通じて情報を知ることができる双方向のコミュニケーションツールとなる「BBまっぷ」を提供しています。

みんなで参加できるコミュニケーションツールとして、地域住民の関心を高めるために重要な役割を果たしています。



事業の流れ〔当社の実施範囲〕

実施内容や進め方は、地域や目的により異なります。お客様からのご相談に基づき、より効果的な手法をご提案させていただきますので、下記の問い合わせ先まで遠慮無くご連絡をください。

当社実績

- H14～H15 「社会環境整備重点河川事業に伴う「旧川」整備計画策定業務」(青野川旧川ワークショップ) 静岡県
- H15～H16 「木曾三川夢の郷」外運営資料作成業務 (財)河川環境管理財団
- H15～ 「庄内川地域連携構想検討(運営)資料作成業務」 (財)河川環境管理財団
- H15 「河川環境対策工事の内環境マップ作成業務」 愛知県

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先： 事業企画部 (TEL. 052-979-3960 / FAX. 052-979-3970)